

札幌音楽家協議会会員のみなさま

例会係からのお知らせです。

今年度2回目の例会は、ヴァイオリニストとして東京・ニューヨークを拠点に活動し、桐朋学園芸術短期大学・特任教授である志村寿一さんをお迎えして

レクチャー：「身体と音楽との調和」を、10月21日（金）14:00～16:00に、JR札幌駅近くの北海道教育大学札幌駅前サテライト：教室1にて行います。

志村寿一さんは、身体理論のスペシャリストとしても著名であり、音楽雑誌に連載を持ち、また「ヴァイオリン演奏のための身体と音楽との調和」の著者としても知られています。今回のレクチャーは、弦楽器奏者のみならず、鍵盤楽器奏者・管打楽器奏者・声楽家など、演奏家全般を対象とした講座内容で、音楽を「動き」として捉え、人間にとって“良い音楽”あるいは“自然な音楽”を生み出すために必要な身体の「動き」とはどんなものか？を、皆さんと一緒に考えて行く内容だと伺っています。ご自身の演奏だけでなく、ご指導の際にも大変参考になる内容のレクチャーになると思いますので、ぜひご参加ください。

今回のレクチャーは、感染症対策の観点から入場を30名程度に制限いたします。人数把握のため、ご入場を希望される会員は「例会入場希望」とお書き添えの上、下記のいずれかの方法で、例会の前日10月19日までにお申し込みください。

申込先：メール satoking_ilk@yahoo.co.jp ファックス 011-773-2362 電話 090-2722-7005

例会係：長岡聡季、影山裕子

札幌音楽家協議会 2022 年度例会：「身体と音楽との調和」

講座概要：音楽とは「動き」であり、人にとって“良い音楽”あるいは“自然な音楽”を生み出すために必要な身体の「動き」とはどんなものなのか？皆さんと考えたいと思います。



講師：志村 寿一

と き：2022 年 10 月 21 日 (金) 14:00-16:00

ところ：北海道教育大学・札幌駅前サテライト 教室 1

札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 sapporo55 4 階 (紀伊国屋書店上)

主催：札幌音楽家協議会

入場無料

講師プロフィール

志村 寿一 (しむら ひさいち)

高校を卒業後渡米、マネス音楽大学に入学。在学中アーティスト・インターナショナル・オーディションに入賞しカーネギー・ワイル・リサイタルホールにおいてデビュー・リサイタルを行い好評を博す。マネス・コンペティション優勝。マネス音楽大学をベスト・パフォーマンス賞を得て卒業し音楽学士、修士を取得。ニューヨークを中心にアメリカ、日本、メキシコ、ドイツ、イタリアなど世界各地で、ソロ、室内楽、オーケストラの奏者として、またジャズ・ミュージシャンとの共演を行うなど多岐にわたる演奏活動を行っている。

現在、福島フィルハーモニック・オーケストラ、コンサートマスター、Cayuga Chamber Orchestra (ニューヨーク州)、首席ヴァイオリン奏者を務めるほか、これまでに New York Virtuosi、紀尾井ホール室内管弦楽団、岩城宏之メモリアル・オーケストラ、黒沼ユリ子氏主催の Solistas Mexico Japon、チョン・ミュンフン氏主催の Asia Philharmonic Orchestra などでも演奏活動を行う。また、これまでにタングルウッド、ザルツブルグ、ボウドウィン、PMF、軽井沢国際音楽祭、松江クラシックス音楽祭などに招聘されている。

ルイス・カブラン、デール・シュタッケンブルック、バリー・レアにヴァイオリンを、ジュリアス・レヴィン、レオン・ポマーズに室内楽を、ペドロ・デ・アルカンターラにアレキサンダー・テクニークとインテグレイテッド・プラクティスを学ぶ。

2016年、志村寿一・音楽の会「寿音」を立ち上げ、「身体と音楽との調和」を目指した独自の研究や指導も行っており、その対象は弦楽器奏者に限らずあらゆるジャンルに渡っている。これまでにジュリアード音楽院プレ・カレッジにてルイス・カブラン氏のアシスタント、ニューアーク音楽院、グリニッジハウス音楽院、東京藝術大学・非常勤講師を、現在は桐朋学園芸術短期大学・特任教授を務める。

近年、ラテン・アメリカの作曲家によるヴァイオリンとピアノのための小品を集めた、CD“Estampa”をリリースし好評を博す。2020 年 5 月せきれい社より「ヴァイオリン演奏のための・身体と音楽との調和」を出版。弦楽器マガジン「サラサーテ」にて「身体と音楽との調和」を連載中。ホームページ：www.hisaichishimura.com